

年 組 名 前 :

児童にうどん作り伝授

富士吉田・ひばりが丘高生徒

富士吉田市のひばりが丘高うどん部の生徒が2日、同市の吉田小の児童にうどん作りを伝授した。

同小の総合的学習の一環で、地域について学ぶために食文化の継承に取り組むうどん部に講師を依頼。2日は、部員5人が同小を訪れ、3年の児童43人に指導した。うどんの生地作りから始め、麺切り包丁で5ミ程度に切り、20分ほどゆでて、ワカメと油揚げをトッピングして完成させ、全員で食べた。

吉田のうどん作りに初めて挑戦した吉田小3年の宮下瑛斗さんは「切る作業が難しかった。おいしいうどんができた。またやってみたい」と感想。指導役を担ったひばりが丘高



2年の金島嵯翼さんは「教える難しさを感じた。楽しそうに作っている姿を見てうれしかった」と話した。

〈仲沢篤志〉

うどん作りに取り組む児童  
＝富士吉田・吉田小

(2023年11月8日付 山梨日日新聞16面)

【 記事を先生や家族に読んでもらうか、自分で読んだ後に、答えてください 】

問1 富士吉田市の吉田小の児童は、だれから、うどん作りの指導を受けましたか。

・ ..... 高校 ..... 部の部員 ..... 人から

問2 指導を受けた児童は、何年生の何人ですか。

・ ..... 年生 ..... 人

問3 次の4つの作業を、当日の作業の順番通りに、1から4の番号を付けてください。

[ ] うどんの生地を作る [ ] ワカメと油揚げをトッピングする

[ ] 20分ほどゆでる [ ] 麺切り包丁で5ミ程度に切る

問4 初めて挑戦した宮下さんは、どの作業が難しかったと話していますか。

.....